



### 働き方改革などで 現場職員と意見交換

NIPPPOの吉川社長

NIPPPOの吉川芳和社長は静岡県富士市の新東名6車線化工事事務所で2月6日、同事務所の職員と働き方改革や女性活躍推進、建設業の担い手不足などをテーマに意見交換した。写真。同事務所には女性社員や外国籍社員が多く在籍し

ており、ダイバーシティ（多様性）の観点からも意見が交わされた。

同事務所は働き方改革の一環として、ダイバーシティ人材を活用した事務所づくりに取り組んでいる。職員24人のうち10人が女性。女性職員の中には外国籍社員や短時間勤務社員もおり、多様な人材が働きやすい工夫が取り入れられている。吉川社長は意見交換

会の講評として「ダイバーシティ人材の活躍で働き方改革を推進し、魅力ある建設現場を構築するモデル事務所になってもらいたい」と話した。

同社は短時間勤務社員を多く採用。現場技術者の残業時間に占める割合が最も多い書類作成業務を短時間勤務社員が分担することで、時間外労働の削減に効果がでてきているという。

## 多様な人材活用で 働き方改革を推進

NIPPOの吉川社長

現場職員と意見交換会

NIPPOの吉川芳和社長は6日、静岡県富士市の新東名6車線化工事事務所を訪問し、同事務所の職員らと働き方改革や女性活躍推進、建設業における担い手不足への対応などについて意見交換会を開いた。写真。同事務所は、

ダイバーシティー人材を活用した事務所づくりに取り組んでおり、誰もが働きやすい環境を整え、働き方改革を進めている。

現在、同事務所には24人の



職員が勤務しており、そのうち10人が女性となっている。

内訳は総合職4人、派遣土木技術者3人（ミャンマー国籍2人・韓国国籍1人）、短時間勤務者3人で、女性技術者ならではの視点を生かした職場改善に努めている。日本が抱える若年層減少による技術者不足に対する方策として外国人技術者を受け入れているほか、短時間勤務者を多数採用することで現場技術者の残業時間の中で最も多い割合を占める書類作成業務を分担し、時間外労働の削減に成果を得ている。

意見交換会后、吉川社長は「ダイバーシティー人材の活躍で働き方改革を推進し、魅力ある建設現場を構築するモデル事務所になってほしい」と講評した。

## 女性職員 を交えて **現場事務所**で意見交換

### 多様な人材活躍で働き方改革

NIPPO

NIPPOの吉川芳和社長は6日、静岡県富士市の新東名6車線化工事現場事務所を訪問し、同事務所に勤務する女性職員を交えて働き方改革や女性活躍推進、また、建設業における担い手不足への対応等



について意見交換会を行ったII写真。

同事務所は、働き方改革の一環としてダイバーシティ人材を活用した事務所づくりに取り組んでおり、職員24人のうち10人の女性（総合職4人、派遣土木技術者3人、ミャンマー国籍2人・韓国国籍1人）、短時間勤務者3人が勤務している。

同事務所の女性技術者の比率は33%と、大手建設会社に比べても多く、女性技術者ならではの視点を生かした職場環境の改善に努めている。外国人技術

者の受入についても、日本が抱える若年層減少による技術者不足に対する方策として実施している。

また、短時間勤務者の多数採用により、現場技術者の残業時間に占める割合が最も多い書類作成業務を分担することで、時間外労働の削減に効果がでてきており、多様な人材を活用し、誰もが働きやすい環境を整えることで働き方改革を進めている。

吉川社長は、意見交換会の講評として「ダイバーシティ人材の活躍で働き方改革を推進し、魅力ある建設現場を構築するモデル事務所になつてもらいたい」とのメッセージを伝えた。